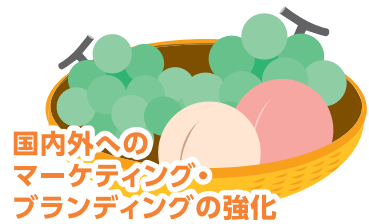


4 攻めの農林水産業育成プログラム

マーケティングの強化とブランディングの推進、海外でのブランド確立による輸出促進、白桃の供給力の強化、次代を担う力強い担い手の育成、県産材の需要拡大と林業収益性向上対策の推進、農作物等の鳥獣被害防止対策の推進などにより、儲かる産業としての農林水産業の確立を目指します。



生き活き指標 ◎農林水産業産出額 1,373億円/年 → **1,485億円/年**

重点施策

●マーケティングの強化とブランディングの推進

マーケットインの視点に立った商品づくり、フードバリューチェーン等の取組を強化するとともに、安定的に供給できる生産体制の強化を図ります。また、白桃やぶどう等の新技術の開発・普及に取り組むとともに、戦略的なプロモーション等を通じ、ブランディングを推進します。

●海外でのブランド確立による輸出促進

白桃やぶどう等を軸に世界に通じる「岡山ブランド」の確立を目指し、台湾、香港を重点市場としてニーズに対応した宣伝・販売活動を展開するとともに、シンガポール等への輸出ルートの開拓や販売拠点づくりを進めます。

●白桃の供給力の強化

晩生品種の導入による栽培面積の拡大などにより、出荷量の増大と長期安定出荷が求められている白桃の供給力の強化に取り組みます。

生き活き指標

○県産果物の販売金額等 (首都圏・海外)

●首都圏販売金額
14億円/年
→ **17億円/年**

※東京都中央卸売市場における県産桃、ぶどうの販売金額

●輸出金額
5億円/年
→ **7億円/年**

※県産桃、ぶどうの輸出金額



東京都中央卸売市場大田市場でのマスクットの初売り



台湾でのトップセールス



白桃



県外での就農相談会



CLT(直交集成板)



捕獲したイノシシ

重点施策

●次代を担う力強い担い手の育成

新規就農者の確保・育成の取組に加え、認定農業者や集落営農組織の規模拡大や法人化、企業の参入を支援するとともに、新たな担い手育成プログラムを構築し、多様な担い手を育成します。また、林業や漁業の人材育成を推進するとともに、ハイブリッドメガ生産団地や農業生産基盤の整備、農地の集積・集約化等を進めます。

●県産材の需要拡大と林業収益性向上対策の推進

新たな需要が期待されるCLT等新製品の利用促進や県産乾燥材の国内外への需要拡大を図るとともに、森林経営の集約化等を推進し、収益性の高い魅力ある林業を実現します。

●農作物等の鳥獣被害防止対策の推進

市町村等と連携し、侵入防止柵の設置などの防護対策や捕獲対策、捕獲獣の利活用対策を推進するとともに、推進リーダーや狩猟者等の確保・育成を図ります。

生き活き指標

○水稲作付面積
10ha以上の経営体数
146経営体
→ **220経営体**

○新規就農者数
132人/年
→ **600人** (4年間累計)

○県産材の生産量
411千m³/年
→ **530千m³/年**

○シカ・イノシシの捕獲数
シカ 1.1万頭/年
→ **5.8万頭** (4年間累計)
イノシシ 1.9万頭/年
→ **6.7万頭** (4年間累計)

推進施策

- 環境保全型農林水産業の推進
- 畜産物の生産振興
- 水産物の生産振興

- 6次産業化と農商工連携の推進
- 産地を支える保全対策の推進